2025年12月の中国による台湾周辺での軍事演習について

出典：中国東部戦区、一般報道等

- 25年12月29日～31日、中国人民解放軍東部戦区は、台湾周辺で軍事演習を実施。本演習は「台湾独立分裂勢力及び外部干渉勢力に対する深刻な警告」であると発表。中国国営メディアでは米国の台湾武器売却(12/17)への反応である旨の指摘も。
- 中国側は、 12月30日９時から19時まで（日本時間）「重要な軍事演習」を実施し、併せて実弾射撃を行うとする海空域の座標を発表し、船舶・航空機の進入禁止に言及。別途、NOTAMを発表。
- 本演習では、海空戦備パトロール、総合制御権奪取、重要港湾・地域の封鎖・管理、島嶼線外側での阻止等を演練と発表、台湾周辺海域で長距離火力実弾射撃等を実施。中国海警は、台湾本島・離島周辺で法執行パトロールを実施と発表。
- 過去の演習と比較し、台湾を取り囲む形での航空機等の進入を禁止する演習区域の設定や、台湾周辺海域（台湾北部・南部）に向けた長距離火力実弾射撃の発表は22年8月以来とみられる。

中国側の主な発表

■ **12月29日**午前8時（日本時間）の中国東部戦区報道官は以下のとおり発表。

・12月29日から、中国人民解放軍東部戦区は陸軍、海軍、空軍、ロケット軍等の兵力を組織し、台湾海峡、台湾島北部、台湾島南西、台湾島東南、台湾島以東において、「正義使命-2025」演習を実施。
・海空戦備パトロール、総合制御権奪取、重要な港湾・地域の封鎖・管理、島嶼線の外側での立体阻止等の科目を重点的に演練し、艦艇・航空機は台湾島に多方向から接近し、諸軍・兵種は統合で突撃をし、その趣旨は、戦区部隊の統合作戦能力を検証する。
・これは、「台湾独立」分裂勢力及び外部干渉勢力に対する深刻な警告であり、国家主権を守り、国家統一を擁護する正当かつ必要な行動。

■ 同29日、海警局は、台湾周辺近海や離島附近海域で総合法執行パトロールを実施する旨発表。

■ **12月30日**午前10時（日本時間）、東部戦区陸軍部隊は、台島北部関連海域に長距離火力実弾射撃を実施し所期の効果を得たと発表。

■ 同30日午後2時（日本時間）、東部戦区陸軍部隊は、海軍、空軍、ロケット軍等と協同し、台湾島南部関連海域に長距離統合火力突撃を実施するとともに実弾射撃を実施し、所期の効果を得たと発表。

■ 同30日、駆逐艦・護衛艦、戦闘機・爆撃機などが台湾島南北の関連海域に展開、確認・識別、警告・追放、模擬攻撃、対海突撃、防空対潜などを演練と発表。

■ 同30日、強襲揚陸艦艦隊、駆逐艦・護衛艦艦隊、無人機などが立体的戦力投射、精兵による破壊・襲撃、重要な港の奪取・統制などを演練と発表。

■ **12月31日**午後7時（日本時間）、東部戦区報道官は、中国人民解放軍東部戦区が組織した「正義使命-2025」演習は、各任務を円満に完了し、部隊の一体化統合作戦能力を全面的に検証した、と発表。